



令和5年度 川根本町生涯学習広報紙

生涯学習

第4回ふるさと発見団「くのわき大根そばづくり」



”地域の魅力を生かして
個性ある活気溢れる
ふるさとづくりを目指して”



海の子・山の子交流教室「山の体験(第1回)」

生涯学習推進協議会会長 森下 正章



本部長挨拶

生涯学習推進本部長

菌田 靖邦

陸上の中長距離競技で活躍している田中希美選手は、ケニアで練習をすることがあります。ケニアの選手は声をかけ合ったり、練習路の危険を後続に知らせたりするなど、仲間意識がとても強いそうです。仲間を守る、大切にするなどが自身の安全確保や生命維持につながるということを学んできたのでしょうか。

生涯学習活動の大きな目的として、地域活動の活性化があります。

活性化といつた「過性の印象」がありますが、実は地域づくりにとって大切な役割があります。それは、地域の人と人を結ぶコミュニケーションの基盤をつくっていることです。地域で何か大きな問題が生じた時、誰も名前も知らない人たちの集団では、問題の解決に当たることはなかなか難しいでしょう。新年早々に起きた能登半島地震やこれまでの大震災では、被災地の人たちは被災した直後から、避難所生活を余儀なくされています。あつてはならないことです。万が一にも大きな災害にあったとき、それぞれの安全を確保し、地域を守っていくのは、そこに住んでいた人たまになります。復興を目指してルールを守り、規律ある生活を続けていくためには、その場の「コミュニティ」の力は不可欠です。生涯学習で取り組んでいる地域づくりは、このような地域の力を引き出していくための取組の一つであるともいえます。

人口の減少や高齢化などが進む中、コロナ禍のこともあり、地域の行事や催しが減少し地域コミュニティが脆弱になってしまっています。あつてはならないことですが、私たちと一緒に住んでいた人々は、その記憶を頼りに次代につなぐべく地域コミュニティの再構築や強化を図っていく必要があります。

川根本町は「豊かな自然と美しい景観」「ゆったりと時間が流れる生活空間」「都市ではない、顔がわかる郷」といった特色をこれまで大切に継承してきました。私は、「まちづくり」は「ひとづくり」であると考えています。「人を大切に学び、人生をより豊かなものとできるよう、町民のニーズや時代に合わせた学習の機会や、多くの方々が活躍できる場の提供、地域コミュニティの活性化、まちづくりにつながる学習機会を充実させ、生涯学習のまちづくりに取り組む中で、互いに助け合い協力し合う人間性豊かなひとづくりを進めていきたいと思います。

また、町民の皆様に取り組んでいたいいる生涯学習事業は、地域をテーマとし地域の素材を生かし、地域の人による手作りの事業を展開しています。協働による共通の体験を通し、楽しい時間を共有することができます。人の和が生まれ、自分たちの手によるまちづくりへの意識が生まれてくると思います。川根本町ならではの互いに顔がわかる親しさの中で、世代を超えた地域の人々が出会い、支え合い、地域が活性化していく機会になればと思います。

各地区の生涯学習事業



生涯学習事業

- 蛍の里作り
- モルック大会
- アクティイの森体験
- 可睡斎雑祭り見学

大間・接岨・桑野山区

- 輪投げ・スカットボール大会
- 懐かしの映写会
- ふるさとの食文化を学ぼう
- 北海道編

千頭東・奥泉・大谷・沢間区

- 苔玉づくり教室
- 敬満大井神社のしめ縄作り
- 浜岡原子力発電所への視察研修
- 七夕供養祭
- 輪投げ大会
- フラワーアレンジメント
- ハンドボール大会
- ヒノキのまな板作り

千頭西・寺馬・上岸・前山区

- ラジオ体操
- 三世代交流グラウンドゴルフ
- 双子座流星群観望会
- 浜岡原発と静岡空港見学会
- 文化祭
- 一茶品評会
- 三世代交流グラウンドゴルフ大会
- プラウンドゴルフ大会
- 二茶業祭
- 地域伝統文化継承事業(百八たい)
- 健康づくり推進事業(グラウンドゴルフ)
- 地域環境美化活動(花壇作り)

藤川・坂京・田代・柳三・高郷・水川・上長尾・下長尾区

- グラウンドゴルフ大会
- フラワーアレンジメント
- 門松づくり
- 一茶品評会
- グラウンドゴルフ大会
- 二茶業祭
- 地域伝統文化継承事業(百八たい)
- 健康づくり推進事業(グラウンドゴルフ)
- 地域環境美化活動(花壇作り)

久保尾・下泉・壱町河内・久野脇区

- 門松作り
- グラウンドゴルフ大会
- 静岡市歴史博物館視察
- 久能山東照宮参拝
- 防災講座
- グラウンドゴルフ大会

青部・梅高・地名・小長井・洗富小幡各区

- 杉玉作り
- 視察研修会
- 介護食試食会
- ラジオ体操
- 花壇整備
- どんど焼き



- 花壇整備
- どんど焼き
- 小長井6・平栗・桑野山区
- 市民輪投げ大会
- 区民輪投げ大会
- 青部・梅高・地名・小長井・洗富小幡各区



沢間区

高齢化が進み、遠出するのも大変な方が多い集落なので、皆で旅行した気分になりながら、文化を学ぶ機会があるといいな、という思いから企画しました。

まず北海道の食文化を取り上げたのは、住民のなかに北海道生まれの女性がいたため。彼女に案内をしてもらい、北海道から直接取り寄せた食材で当地の郷土料理を作り、味わいました。自らの郷土川根の良さも噛みしめながら、歴史、文化の多様さを知った、面白い学びの場になつたと思います。



桑野山区

夏の恒例となりました、朝のラジオ体操を7月28日から10日間行いました。小学生からお年寄りまで25名ほどの参加で元気よく楽しみました。今年はいつもより切れのある体操をする方が多く、桑野山地区の元気の秘密が分かりました。

花壇整備は11月に行いました。20名ほどの参加で行いました。今年は鹿に荒らされないよう、皆で知恵を絞り工夫して花壇整備を行いました。桑野山住民の心のようにきれいな花が咲くことを期待しています。

各地区の生涯学習の取り組み

接岨区

接岨地区は螢の里作りということで、螢の幼虫を放流して多くの方に見ていただければうれしいです。

例年、螢がきれいに飛ぶ姿を多くの方に見ていただければうれます。



大間区

1月26日は、森町体験の里アケティ森でアウトドア体験とし

てグラウンドゴルフと創作体験工房コースの中から、吉川和紙と草木染め組に分かれ、自分の好きな体験を行いました。

10月に懐かしの映写会を開催し、昔の映像が流れ、参加者みんなさん懐かしんでいました。

2月には、輪投げ・スカットボール大会を実施し、お年寄りから子どもまで楽しく過ごしました。



奥泉・大谷区

また、可睡斎で行われているひなまつり展および、初馬口ウバイの里の蝶梅鑑賞も行いました。
9月13日、12月5日は、モルック大会を開催しました。50点を目指し体も脳も活性化されるスポーツとして好評でした。会を重ねることで、要領を得て進行がスムーズになりました。



千頭東区

今年度も2つの事業を実施しました。

苔玉づくりでは、土に触れる機会が少ないので、気持ち良く笑い声も話し声もにぎやかで良かったです。素敵な作品ができました。

毎年恒例の「どんど焼き」を行いました。令和6年1月6日(土)徳谷神社神楽会と、地区生涯学習主催でおこないました。

1月1日能登半島地震発生のニュースに愕然と。そして他人ごとではないと。今年も一年間の災いを払い、家内安全、無病息災を願いたいと112名の方が参加されました。一事業でしたが、今年も、地区内のコミュニティ活性化とまちづくりにつながる学習ができました。



初めて彩むすび書を習いました。基本を講師の方に教えていただきながら、皆さん思案しながらハガキ大の作品を写真立てに入れて完成させることができました。集中して作品を作ることができました。

千頭西・寺馬区

千頭地区内6箇所の神仏を七夕の7月7日に観天寺の和尚さんに祈願をお願いし祀っています。

千頭地区には敬満大井神社があり寺馬区、千頭西区、千頭東区、沢間区4区が持ち回りでしめ縄作りを区民の協力で作り、奉納し地区でとれた野菜、果物など七十五膳奉納する伝統行事があります。

浜岡原発見学はガイドがついて説明していただき、約一時間大変勉強になりました。小中学生も参加できたらもっと良かったと思いました。



午後は日本平からロープウェイにて久能山東照宮に行きました。家康のお墓にお参りしてから歴代の将軍の鎧兜などを展示してある博物館を見学しました。階段が多く年配の参加者は大変そうでしたが天候にも恵まれ良い視察研修ができたと思います。また参加者の親睦も深めることができ、有意義な時間を過ごすことができました。



上岸・前山区

今年度は、数年振りに多くの事業を実施することができます。どの事業も笑顔と活気が溢れた楽しい時間となり、推進員も参加してもらえるような工夫をしたいと思います。



ションもとれで少しは達成感を得る事ができたと思います。



令和5年12月3日の防災訓練の後に参加は自由として区民の輪投げ大会を集会所内において実施しました。約30名の方の参加があり老若男女で楽しく競い合いました。やはり高齢の方の方が上手だったので感心しました。終了後、介護職で教わったハンペンチーズはさみ焼を試食して頂き、とても好評でした。区民の皆様とコミュニケーション

田代・柳三区

今年度は、11月19日に24名の参加でグラウンドゴルフ大会を行いました。晴天の中楽しくで行き、無事に終わることができました。



また、2月10日には、語り部の方を田代区会館に招いて「ダイダラボッチ」「おせんきつね」の話を聞いていただき、みんな話に聞き入っていました。その日にヒノキのまな板作りをしました。慣れない機械に戸惑いながら、なんとかまな板ができました。



ため4年ぶりの開催でしたが、53回目となります。



10月29日、徳山コミュニティセンターにて「茶葉祭」が開催され、60名近くの参加者を集め、開茶会を行いました。口口ナ禍の

坂京区

なつかしの写真鑑賞会では敬老者を中心になつかしの写真を提供していただき、プロジェクトターを町より貸していただき鑑賞しました。地区の敬老会に合わせて開催したため多くの方に参加してもらいました。

静岡市歴史博物館では江戸時代の道路がそのまま展示しており、江戸時代にタイムスリップしたかのようでした。



中国宋から渡越し、鎌倉末期から室町中期にわたって武士や貴族の間で爆発的な人気となつた茶会の形式のひとつで「茶歌舞伎」とも呼ばれ、五感を頼りに「花鳥風月客」の5種類の茶葉を5回、25点満点で飲み当てる競技です。今回は、川根高校女子生徒3名も参加され21点の好成績で3位決定戦となり大変盛り上がりのある大会となりました。

成績上位者はもちろん参加者全員に商品が用意されていますので、徳山地区民以外の方でも、我こそはという方は是非参加してみてください。

水川区

今年度は、グラウンドゴルフ大会を計画し、実施しました。寒い中でしたが、天候に恵まれ、32名の方に参加していただき、皆さん協力により開催することができました。このような事業で区民の皆さん幸いです。



上長尾区

門松づくりを12月24日に行うことができました。材料の調達、竹の加工等大変でしたが班の生涯学習委員や区の役員の方に大変お世話になり、あつという間に楽しくスムーズに上手にできましたと思いました。来年も門松づくりを続けていきたいと思います。参加人数も工夫をして増やし、今年より来年はもっとうまく作りたいです。

また、もう一つの生涯学習事業ができたらと思っています。



高郷区

地域で風物詩となりつつあった「送り盆」は、台風7号の影響による河川の増水により中止。感染症の流行等によりやむなく中止になりました。



八中区

生涯学習事業を通じて区民や八中区出身の帰省者たちが交流できるよう毎年1月3日に開催する「輪投げ大会」。



神様を見送り、無病息災を祈りました。

梅高区

地域の交流の輪を広げるには最適のスポーツですので、今後も継続していきたいと思います。



下長尾区

性について学ぶことができました。桜ヶ池ではおひつ納めの神事と池宮神社の由来について学ぶことができました。



瀬平区

平谷の流したいは町指定無形民俗文化財であり、毎年7月14日に行われます。麦藁の確保がなかなか難しくなる中、今年も区民の力を合わせて一年の無病息災、家庭円満等のそれぞれの思いを込めて流しました。



久保尾区

11月12日に静岡県歴史博物館と久能山東照宮に行きました。



そんな中、どんど焼きについては1月14日に何とか執り行うことができました。コロナ禍であった前年までは、参加者から松飾り等を預かるだけでしたが、今回はくじを用意し、参加者へ景品を配布しました。この冬一番の寒さとなっていたこの日、高郷区の皆様、高郷区役員、生涯学習委員が見守る中、お正月の松飾り等を燃やして

今年も、在住する区民のほとんどが参加し楽しく実施できました。輪投げは、年齢に関係なく小さな子供から高齢者まで気軽に楽しめるスポーツですが、この事業が定着し数十年、競技レベルも年々高くなり高得点が続出、優勝者の得点はかなりのハイレベルになってきました。

御前崎市の浜岡原子力館と桜ヶ池の二ヶ所を訪問しました。浜岡原子力館では、原子力発電の仕組みと地震と津波対策の安全

三世代交流グラウンドゴルフ大会は毎年12月の防災訓練のあとに行われます。小学生から90代までの未経験者も経験者も和氣あいあい笑顔のなかでプレーすることができました。

久能山東照宮では社殿、楼門などの朱塗りの建物がきれいで、時代の駿府の町や暮らしを知ることができました。



県内視察研修会

令和6年1月28日(日)に県内視察研修会を行いました。

生涯学習推進員12名が参加し、諏訪原城跡と高天神城跡の見学に行きました。

両城跡見学には、ボランティアガイドが付き丁寧に説明をいただき、質問する方も多く、とても熱心な研修会となりました。

令和6年1月28日(日)



4年ぶりに「生涯学習のつどい」が開催されました。

令和6年2月18日(日)に町文化会館において、地域で取り組む生涯学習の活動報告を下泉地区、千頭西・寺馬の地区推進委員が発表され、教育委員会の活動報告では「小学5年生県外体験学習」「海の子・山の子交流教室」「むつみ学級」「すこやか大学」の各代表者から発表されました。



すこやか大学



むつみ学級



千頭西・寺馬地区



県外体験学習



海の子・山の子交流教室



下泉地区

令和6年2月18日(日)

また、株式会社サンリの山田玄太氏による「川根本町をいきいき元気!活気のある町に」と題し、オリンピック選手やメジャーリーガーも実践する“メンタル術”について講演されました。

多くの町民の方にご来場いただき、1年間のまとめとして有意義なつどいとなりました。

防災講座は、川根本町役場総務課政策専門官にご尽力をいたしました。一般社団法人OPEN

2011年3月11日、14時46分頃に発生した東日本大震で被災、メディアでは報道されない生々しい被災地の状況をお話しください、区内においては涙する方もおりました。防災に対する新たな気持ちが生まれたと 思います。

区民グラウンドゴルフ大会は、34名が参加して生憎の天気でしたが、和気藹々にプレーすることことができ、親睦が深まりました。

下泉区



グラウンドゴルフに於いても、地域のコミュニティの活性化として、大いに盛り上がり、あちらこちらで大きな笑い声が聞こえてきました。今年度の生涯学習活動も有意義なものになつた様に思います。



今年も昨年同様、グラウンドゴルフ大会の一事業を実施しました。当日は好天に恵まれ、日々の生活を忘れ楽しく競技でき、競技後成績発表を行い入賞できなかつた参加者にも賞品をあげるようにして大会を終了しました。

例年通り多数の方が参加ください、大井川を流れる光を放つ灯籠は、たいへん趣があるもので、皆さん、それぞれの想いを込め手を合わせておりました。

令和5年度も昨年同様、8月実施の灯籠流しと10月実施のグラウンドゴルフを行いました。伝統行事である灯籠流しは、汗を流すことができました。

地名区体育行事は、感染対策をしながら、集会場前広場で玉入れ大会を実施し、気持ちよい汗を流すことができました。生涯学習視察研修は、浜松城、浜松ぬくもりの森、浜松工アパークなどを訪れ、西部地域の歴史や文化に触れることができました。

生涯学習の風が吹くまち



ふるさと発見団

町内小学校4～6年生7名が川根本町の良さを再発見する活動に取り組みました。大井川について学んだり、アマゴの塩焼きを食べたり、キャベツの収穫体験や久野脇地区でそば打ち体験など数多くの活動をしました。地域の方とも交流を深めながら、ふるさとの良さを再発見することができました。



海の子・山の子交流教室

川根本町と焼津市の小学生が様々な活動で交流しながら、お互いの市町の良さや山と海の繋がりを知ることを目的としています。8月・11月には川根本町で山の体験としてカヤック・SUP体験、羊毛クラフト体験や狩猟ゲームなどの活動を行いました。10月には焼津市で海の体験として鰯節削り、釣りや超低温冷凍庫に入る体験をしました。



むつみ学級 おおむね60歳以上の女性を対象に

おおむね60歳以上の女性を対象に、約35名が登録し、年間4回の学習会を行いました。「俳句講座＆リラックス体操」「カルトナージュで袱紗作り」「どうする家康体験ツアー」「本場のインドカレー作り」など様々な体験活動を通して、楽しくいきいきと仲間の輪を広げる学習会になりました。



すこやか大学 おおむね70歳以上の男女を対象に

おおむね70歳以上の男女を対象に、約42名が登録し、年間4回の学習会を行いました。「お茶染めからSDGsを学ぼう」「インドの文化と日本の文化」「音戯の郷へ行こう」「辰年のカレンダー作り」など、楽しく元気な生活をするために、視野を広げて学習することができました。